

中土佐町社協だより

ふくしの

チカラ

冬号



2025年1月



寄り家を利用されている皆さんで笹場地区の  
コスモス畑へお出かけ (おまけ P11)

## Contents

- ・新年のごあいさつ/抱負 . . . . . P2-3
- ・【特集】シリーズ社協のこと教えて③
  - 『訪問介護事業所（ホームヘルパー）編』 . . . . . P4-5
- ・久礼地域アクションプラン『ふれあい作品展』 . . . . . P6
- ・大野見地域アクションプラン『大野見みんなの文化展』 . . . . . P7
- ・笹場・押岡地区と福祉まちづくり施設の合同避難所運営訓練を実施しました . . . . . P8
- ・新採用職員紹介/赤い羽根共同募金運動のお礼 . . . . . P9
- ・つどい処防災新聞〔令和6年度第4回〕 . . . . . P10
- ・表紙の「寄り家」を利用されている皆さんのエピソード（おまけ） . . . . . P11
- ・全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」での活躍紹介/ご寄付のお礼 . . . . . P12

新年明けまして

おめでとーございませう

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎  
えのことと心からお慶び申し上げます。

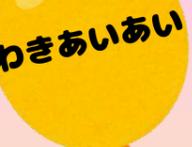
昨年中は格別のご厚情を賜り、また本会の福  
社活動に對しましても深いご理解とご支援を賜  
りましたことを厚く御礼申し上げます。

長引く物価高騰の中、様々な困りごとを抱え  
暮らしていくさを感じておられる方の支えになれ  
るよう寄り添い、信頼される社協を目指し尽力  
してまいります。また、社会的孤立などますま  
す深刻化する福祉課題に向き合い、これまで以  
上に住民の皆様との協議や関係機関と連携を図  
り、福祉のコミュニティの充実に努めてまいり  
ます。

皆様方には、より一層のご理解とご支援を賜  
りますとともに皆様のご健康とご多幸を心より  
祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会

会長 坂井 貞嗣



令和7年は  
こんな年にしたい!



# 特集

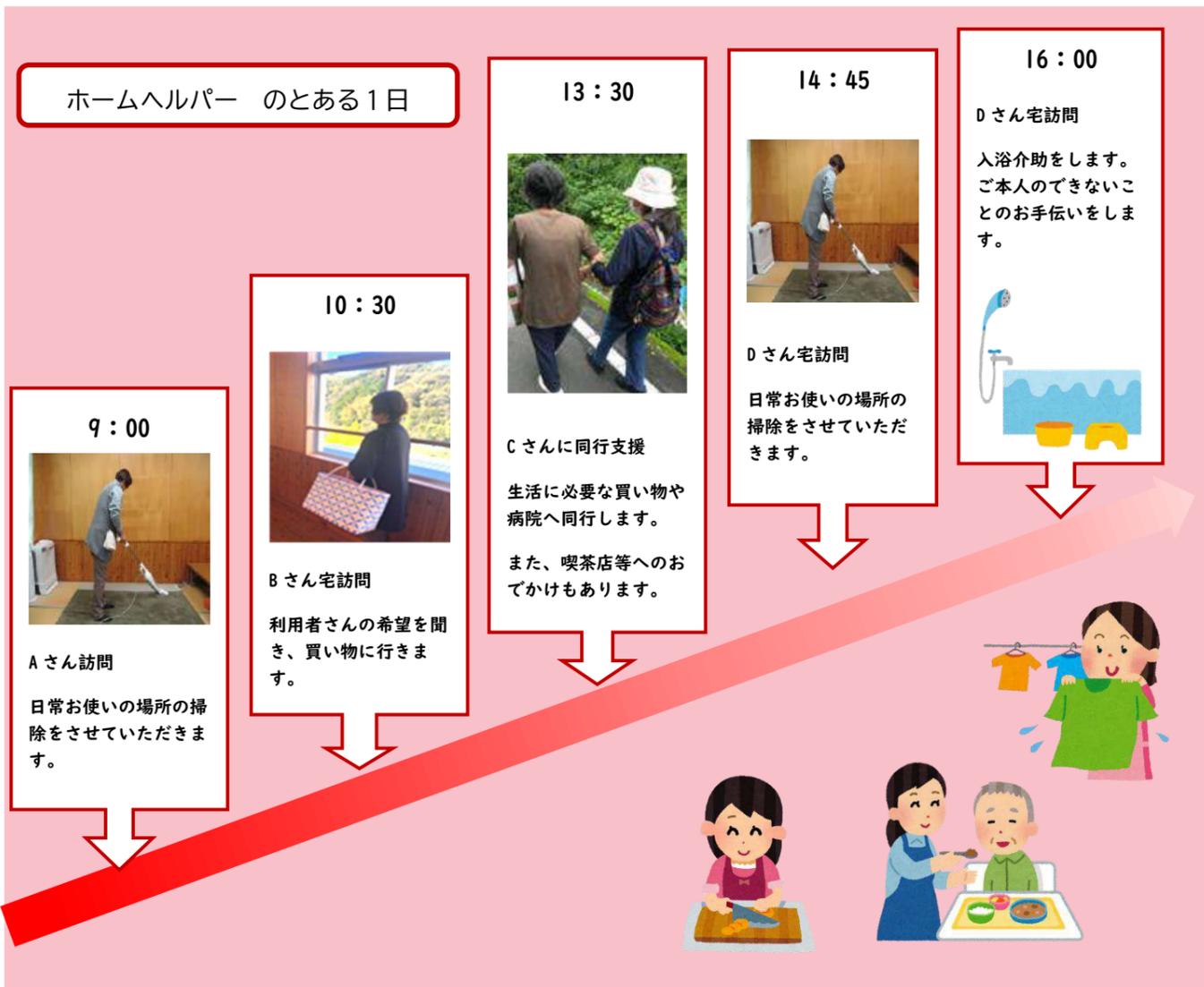
## 社協のこと おしえて 3

～福祉の現場をのぞいてみよう～



### 訪問介護事業所(ホームヘルパー) 編

訪問介護事業所は、訪問介護員が要介護・要支援状態にある高齢者や障害者のご自宅へ訪問し、利用者の特性を踏まえて日常生活を営むことのできるよう入浴・排泄・食事の介助・その他生活全般にわたる援助を行っています。自立を促し、心身の機能の低下を防ぐことで生活機能を維持したり、高めたりするサービスです。



### 職員の主な業務内容

- 身体介護…おむつ交換、入浴介助、清拭、食事介助、体位変換、着替えの介助、服薬介助、移動介助など
- 生活援助…日常お使用の場所の掃除、洗濯、買い物、生活相談、調理、衣類の整理など



### 働いている職員にインタビュー



#### ○仕事のやりがいは何ですか??

- ・利用者に「ありがとう」「また来てよ」と言ってもらえると嬉しいです。
- ・在宅生活を続けていくことにつながっているのだから、利用者の役に立てているという実感があります。
- ・サポートすることで利用者自身のできることが増えていきます。それを見られることが嬉しいです。

#### ○職場の雰囲気はどうか??

### ホームヘルパーの休日



小さな畑で野菜を作っています。  
休みの日は土をいじってストレス解消しています！  
知り合いに配って喜んでもらえたり、採れたて野菜で料理をすることが楽しみです！



# 大野見みんなの文化展

## 2024. 11. 28~30

大野見体育館にて第5回目となる「大野見みんなの文化展」が開催されました。住民で構成する「大野見みんなの文化展実行委員会」の主催で、準備から当日までの運営を行いました。

大野見地区住民のみならず、中土佐町内外から参加者があり、今年は新たに作品展示で3名・ステージ発表で久礼ハーモニカクラブと久礼中学校吹奏楽部の2組が初参加。「知り合いや孫が出るなら」と初めて来場した人や「久しぶりに外出した」という人もおり、参加者の輪が広がっています。飲食スペースではプチ同窓会も行われみんなが笑顔に。昨年から引き続き参加した人からは「この文化展に向けて作品作りや練習に励んでいる」と、生きがい作りにもつながっています。最終日には、ステージ発表や大野見の地域を盛り上げようと活動する地元団体の飲食販売もあり会場は大賑わい！3日間で400名を超える過去最高の来場者数（協力者含む）となり、大盛況で幕を閉じました。



# ふれあい作品展

今年で十三回目になる「ふれあい作品展」を十一月八日（金）～十日（日）で開催。三日間で延べ三百十一名の来場がありました。

今年は、三十三名の地域の方が作ったバックやマフラー、絵ハガキ、漫画、アクセサリーなどの様々な作品を展示・販売しました。最終日のこどもセンターとコラボした「はぐまるまつり」ではスタンプラリーをする子どもたちがセンター内を駆け回り賑やかな作品展となりました。参加してくれた子どもたちには、シャボン玉の景品がままる利用者から配られ、つかの間の交流に大人も子どもも楽しく過ごすことが出来ました。

中土佐町の人口は毎年お

よそ二百人ずつ減っていきま

す。地域行事も少なくなり、地域のつながりや支え合いが希薄化するの無理もない事

かもしれない。しかし、いざという時にはそのつながりが大きな力を発揮します。ふれあい作品展のような多世代が交流できる機会を意図的に設け、関わる人を増やしなが

ら地域のつながりが保てるよう取組んでいきます。



ストーンアート・貝殻アート・マスコットづくり・レジンアクセサリーの体験教室も人気

## ～新採用職員紹介～

### 【介護保険事業課】

#### 訪問介護事業所(ホームヘルパー)



岡田 八重子

これまでの経験を活かして  
誠心誠意、ご利用者様に  
寄り添えるケアを目指して  
いきます。  
今後ともよろしくお願ひします。

#### 小規模多機能型居宅介護事業所



田井 秀一

職員同士が仲良く  
楽しい職場を目指して、  
利用者様を大切に  
喜ばれるケアを行っていき  
たいと思います。  
今後ともよろしくお願ひします。

### 【障害福祉課】

#### 就労支援B型事業所「経乃國の萬屋」(生活支援員)



梅下 仁志

経乃國の萬屋でリサイクル資源の分別作業・こどもセンター等  
町内施設の清掃作業の就労支援(作業指導)を行っています。  
みなさんのお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

生活支援員…萬屋利用者のそれぞれのニーズに応じた、健康管理や日常生活上の支援を行います。また、適宜相談に応じます。

令和6年度の赤い羽根共同募金運動にご協力、ありがとうございました。

地区長・常会長・班長様のご協力のもと、たくさんの戸別

募金が集まりました。また、企業・法人のみなさまからも年末年始にも関わらず、  
たくさんの大口募金があり皆さまのあたたかいご協力で心から感謝申し上げます。

### 令和7年度の助成を受けたい団体を募集しています！

#### 募集期間(延長)

R7年2月7日までに希望される方は、ご一報ください。

#### 対象団体

中土佐町で見守りや生活の助けにつながる活動、いきがいや地域を盛り上げる活動を行っている団体・組織

申請書類は社協内にあります。  
お気軽にお問合せください。



## 令和6年度 笹場・押岡地区「避難所運営訓練」・

### 福祉まちづくり施設「福祉避難所運営訓練」

令和6年11月24日、笹場・押岡地区の「避難所運営訓練」と福祉まちづくり施設の「福祉避難所運営訓練」を、地区の皆さんや役場危機管理室職員の方と初めて合同で実施しました。

互いの避難所の役割を、実際の運営訓練や説明を通して知り、発電機や投光器の使い方を一緒に学び、そして、災害用の資器材の不足品があることも、共通課題として地区の皆さんと共有できました。

これからも、合同で訓練を重ねることで地域とのつながりを深め、一緒に災害を乗り越えられるよう備えていきたいです。



50人近くの地区の皆さん  
が参加されました



運営マニュアル使って、訓練の  
手順を確認している様子です



笹場地区の班ごとに  
受付をしています

ベッドやテントの設営  
を行いました



危機管理室より地区の避難所  
にある発電機の使い方を学びまし



まちづくり施設にある投光器の使い  
方を住民の皆さんと一緒に確認しました

# おまけ



今号の表紙は、上ノ加江のあったかふれあいセンター寄り家  
を利用されている皆さんが、笹場地区の**コスモス畑**におでかけした

時の様子です。(R6.11.12)

コロナ禍でお出かけの機会がめっきり減っていたところ、「**笹場地区のコスモスが見頃になったよ~**」と地域の方から知らせが届きました。

久しぶりに重い腰を上げ皆で、お出かけすることが急遽決まり、いざ出発！

あたたかな日差しの中、辺り一面に広がるコスモスを見て、「上ノ加江やないみたいだね~」  
「どこかに旅行に来たみたいだね」「これはきれいな。初めて見に来たけど、来て良かった」と皆  
さんの顔にも、**にこにこ笑顔の花**が咲きました。



川口一旬

秋桜 姥桜共 満開に

「和」

姥桜(ウバザクラ)とは、娘盛りを過ぎてもお美しい女性のことをいいます。年齢を重ね、より一層人生を謳歌されている様を詠んだ句です。

寄り家を利用されている地域の担い手さんから届きました。



皆さんは、「災害時避難行動要支援者」という言葉を聞いたことがありますか？

「災害時避難行動要支援者」とは…災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害のある方など支援を必要とする人です。市町村に名簿登録し、行政や警察、消防などにその情報が保管されています。また、その名簿に登録している人は、一人ひとり避難計画がつけられており、日頃から避難訓練などで事前に備えることが重要とされています。

つどい処の関わりのある方のうち、24名の方が台帳登録しています。しかし、残念なことに避難訓練への参加率が少ない状況があります。そこで、つどい処では、台帳に登録している方などにお声掛けし、10月に行われた町内一斉避難訓練に職員と一緒に参加する取り組みを行いました。

## 初めての場所や人は不安です

~避難訓練に行ってみたら不安が和らいだAさん~

町内一斉避難訓練に初めて参加しました。避難場所は知っていましたが、実際に行ったことはありませんでした。知らない場所や人が集まる所は、どんな所かわからず不安になるからです。避難場所に行くと、自分のことを知っている自主防災会の方や地域の方がいました。自主防災会の方から、「地震が来た時は、僕もここに来るから必死に逃げて来いよ！」と言ってもらい、次も訓練に参加してみようという気持ちになりました。



## 一人でも知り合いがいたら安心です

~参加して相談できる人と知り合えたBさん~

避難場所は知っていましたが、避難訓練に参加したことはありませんでした。引っ越しをしてきた場所のため、地域に知り合いはなくて避難所生活に不安を感じていました。今回、避難訓練に参加して、自主防災会長さんから「困ったことがあったら、なんでも言いよ」と言ってもらえたので、安心しました。避難したときに、知っている人がいるだけで、ホッとします。次の訓練も参加しようと思っています。

障害のある方の中には、一人では状況判断が難しい人、体が不自由で移動がむずかしい人など、災害時に避難することに立ち足る壁があります。東北大震災では、障害のある方の死亡率は障害のない方と比べ、2倍でした。また、地域では、障害のある方が暮らしていることを知らない、知っていても、「声をかけづらい…」など、心の距離がある場合もあります。

地域の避難訓練に参加することで、お互いに知り合え、手助けを知ってもらえる機会になります。まずは、訓練に参加することから始めていこうと取り組んでいきます。

令和6年  
度

つどい処では、「自分の命は自分で守る、大災害時に備えよう」と定期的な避難訓練や防災の学びを行っています。今回は、十月に実施された、避難訓練に参加した方の感想を掲載します。



# 準優勝おめでとうございます



10月26日(土)~28日(月)に佐賀県で開かれた第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」陸上競技ソフトボール投げにおいて、竹村浩幸さん(久礼在住)が優秀な成績を収められました。

## 見事第2位 銀メダル!!

良い経験ができました。

ソフトボール歴10年目にして初めての全国大会出場でとてもうれしかったです。

これからも体力が落ちないように筋トレを頑張っていきたいです。

## ※たくさんのご寄付をいただきました※

(順不同・敬称略)

### \* プルタブ

日林 勇人 浜田 悦子 坂出 さかえ

たかはしでんき 大野維持会

マサオカデンキ・ガス 匿名希望…数名

### \* 切手

マサオカデンキ・ガス 笹場スカッシュ

高知県職員退職者会 高岡支部 匿名希望…数名

### \* その他

中土佐ライオンズクラブ 匿名希望

皆さま、温かいお気持ちをありがとうございました♡大切にさせていただきます

編集・発行 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会

〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼 6584-1 TEL:0889-52-2058 FAX:0889-59-0554

HP <http://www.nakatosa-shakyo.or.jp>

\* 本紙は社協会費を活用して発行しています \*